



News Letter



VOL.7
2017年11月号

医学部父兄会

平成29年10月21日(土)医学部父兄会で、明石副センター長が「ワーク・ライフ・バランス」について講演されました。本学の「くるみん」取得および男性の育児・介護休業取得状況、男性の子育てへの参画、女性活躍の推進の必要性などが紹介されました。

当日は懇談会の時間帯に「学生・保護者相談会」のブースを設置したところ、4件の相談がありました。ご子息・ご息女のキャリア相談に対応するため、今後も父兄会開催時には、相談ブースを設置いたします。



学生・保護者相談会
ブース

女性医学生・研修医と女性医師・教員の交流会

平成29年11月10日(金)午後5時30分から午後7時、女性医学生・研修医と女性医師・教員の交流会が開催されました。

尾崎学長(センター長)の挨拶と明石副センター長の乾杯により、和やかな雰囲気で開催されました。会の途中では、高田女性医師・研究者支援部会長から「センターの最近の活動」、黒川女性医師・研究者支援部会員から「お得な情報」を紹介いたしました。

当日の参加は41名で、男性にも多数参加していただきました。学生や若手医師が、先輩医師とのふれあいを通じて、医師としてのキャリアと人生設計を考えるきっかけになったと思います。

7名のお子さまには、会場の教育棟1階マリオンに設置したキッズスペースをご利用いただきました。

アンケートから、センターの活動を知らない方が多いことが分かりましたので、情報共有と今後の支援内容を考える場として、継続的に開催いたします。

介護に関する講演会

平成30年2月に介護に関する講演会 ～仕事と介護の両立のために～part II を開催します！

「いざ、介護と向き合うことになった時」を経験された本学職員の事例をとおして、ご本人やご家族、地域支援、関係機関の連携や本学の制度を理解していただくための講演会を開催します。

「介護」は決して他人事ではありません。介護を身近に考えるための情報をお知らせしますので、是非ご参加ください。

〔コーディネーター：呼吸器内科 佐治淳子講師〕

復職者看護師交流会

平成29年11月18日(土)午前9時45分から午前11時30分、多摩病院2階講堂でWorking mother応援プロジェクトが主催する看護師さんの交流会が開催されました。育児休業中の方と復職された方が集まり、それぞれの悩みや工夫していること、ストレス発散方法、地域の子育て支援の活用の工夫などが話されました。また、育児休業中の方からは、仕事をしていないのに時間がなく、復帰する自信がない、などの悩みも上がりました。同席された上田師長からは、日勤中の働き方を考えて業務に望む、例えば情報の取り方、すき間勉強をするなど、時短勤務の仕事の極意が紹介されました。

当日は、高橋保育・介護支援部長が陪席されました。また、お子さまのお預かり対応として、本センターより臨時託児所の支援をいたしました。

お母様もお子さまも、安心して交流会に参加できたと思います。



日本女医会シンポジウム

平成29年10月28日(土)日本女医会第11回医学を志す女性のためのキャリア・シンポジウム「ポジティブ・アクションノススメ」が開催されました。

本学からは、日本女医会理事として東横病院女性検診科医長 磯貝先生、演者として高田女性医師・研究者支援部会長が参加されました。

高田部会長からは「ポジティブ・アクションに向けてー聖マリアナ医科大学の女性医師支援の現状と課題」が紹介されました。日本大学、東邦大学、千葉大学、医師会の講演およびディスカッションでは、各大学等の課題や推進内容が分かりやすく紹介されました。



ピンクの自動販売機

「若手・女性研究者奨励金」への寄付金となる「寄付金付自動販売機」が設置されました。一大学あたり2枠の応募が、自動販売機設置により3枠に増えましたが、売上が減ると来年度の応募枠が減りますので、皆さん、医学部本館6Fのピンクの自動販売機で、ご購入をお願いします！



保育・介護支援ガイド

HP



人事課、HP等で確認できます。

Marianna-net	研究、診療、学生、事務のタブを選び、右にあるリンク一覧から「男女共同参画キャリア支援センター」をクリックしてください。
ネット検索（Google や Yahooなど）	「マリアンナ 男女」で検索し、「 <u>男女共同参画キャリア支援センター</u> <u>聖マリアンナ医科大学</u> 」をクリックしてください。

マリアンナさくら保育園 防災訓練

平成29年11月17日(金)10時、マリアンナさくら保育園の調理室より火災が発生したことを想定した防災訓練が実施されました。

10月にリニューアルオープンをして初めての訓練で、屋外階段の非難通路を利用しました。先生方におんぶ、だっこ、手を握られて誘導されたお子さんたちは、すぐに配置されたカートに入り、全員の点呼確認がされました。ぐずったり泣いたりするお子さんは一人もなく、大変スムーズな訓練でした。

ー保育園に関する問合せー
管理課(病院本館4階)
内線6419、6406(桑原、岩田)



ベビーシッター補助制度

教職員の「仕事」と「家庭・子育て」の両立支援のため、ベビーシッター費用の一部補助の制度を導入しています。ベビーシッター派遣事業内容としては、通常分と多胎児分があります。

【利用期間】平成29年4月1日～平成30年3月31日まで

【利用対象者】教職員・パート者は、日本私立学校振興・共済事業団加入者に限る。※男女は問いません。詳細について、「マリアンナネット」事務tab人事部の福利厚生内に掲載しています。

利用できるシッター情報については、全国保育サービス協会 <http://www.acsa.jp/htm/howto/> をご覧ください。

●男女共同参画キャリア支援センター●

事務局044-977-8111(内線5840)、メール(ご相談・ご意見): career@marianna-u.ac.jp